

厚生年金基金資産運用業務報告書
(平成23年度)

厚生労働省年金局企業年金国民年金基金課
平成25年1月

厚生年金基金資産運用業務報告書について

【概要】

厚生年金基金は、毎事業年度、年金給付等積立金の管理運用業務についての報告書を作成し、翌事業年度までに、厚生労働大臣に提出しなければならないとされている。（厚生年金基金規則（昭和41年厚生省令第34号）第56条第2項）

なお、報告書の内容については、各厚生年金基金の資産の状況をよりの確に把握することができるよう平成24年9月26日付けで見直しを行っており、平成25年度報告分（平成26年9月30日提出期限）から、この見直しを適用する予定である。

【対象基金数】

577基金（平成24年3月末現在）

(別紙2)

年金給付等積立金の管理及び運用に関する資産運用業務報告書(平成 年度)

(基金番号) _____

(基金名) _____

(住所) _____

1. 基金全体資産
(資産別残高及び資産構成割合)
(単位:百万円、%)

	国内債券	新株予約権付社債	国内株式	外国債券	外国株式	一般勘定	その他資産	資産合計
時価総額 (うち自主運用)								
構成割合								100.0

(備考) その他資産の内訳

	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	短期資産	合計
時価総額					

※ 欄は、適宜増やすこと。

(注) 構成割合は、小数点以下第2位四捨五入。

(運用機関別資産残高)
(単位:百万円)

	資産合計	資産合計	資産合計
信託銀行		生命保険	金融商品取引業者
内訳	〇〇信託銀行	内訳	〇〇投資顧問

	資産合計
自家運用	

※ 各欄は、適宜増やすこと。

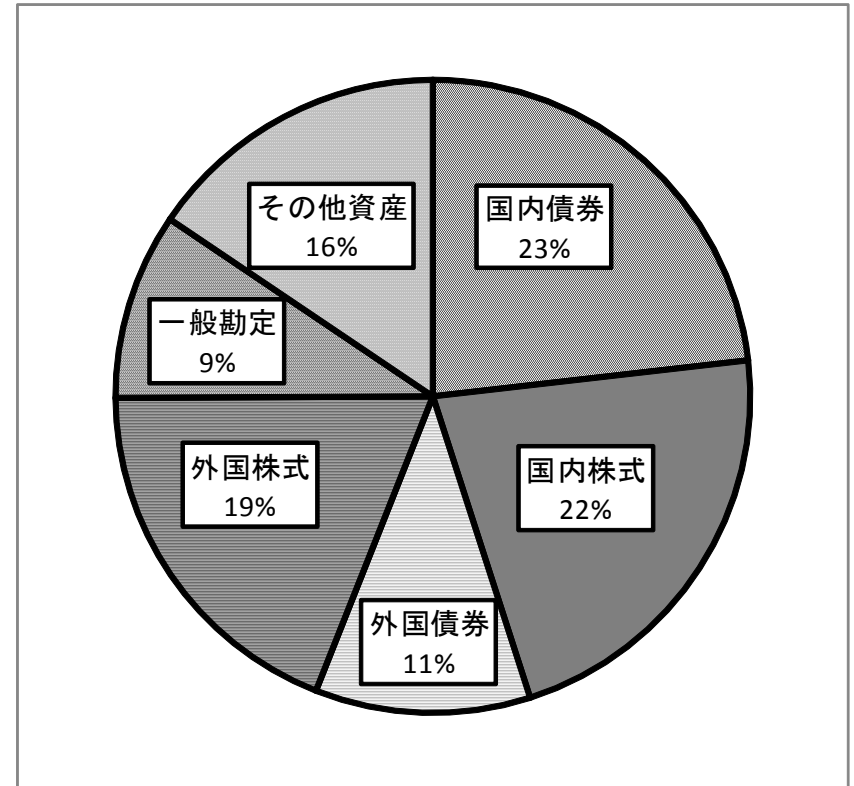
厚生年金基金の運用資産別残高及び資産構成割合（平成24年3月末）

平成24年3月末における厚生年金基金の運用資産残高総額は、17兆710億円となりました。

また、資産構成割合は、国内債券23.2%、国内株式21.8%、外国債券11.0%、外国株式18.9%、一般勘定9.5%、その他資産15.6%となっています。

	時価総額(億円)	資産構成割合(%)
国内債券	39,574	23.2
国内株式	37,298	21.8
外国債券	18,765	11.0
外国株式	32,268	18.9
一般勘定	16,242	9.5
(注) その他資産	26,563	15.6
合計	170,710	100.0

(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

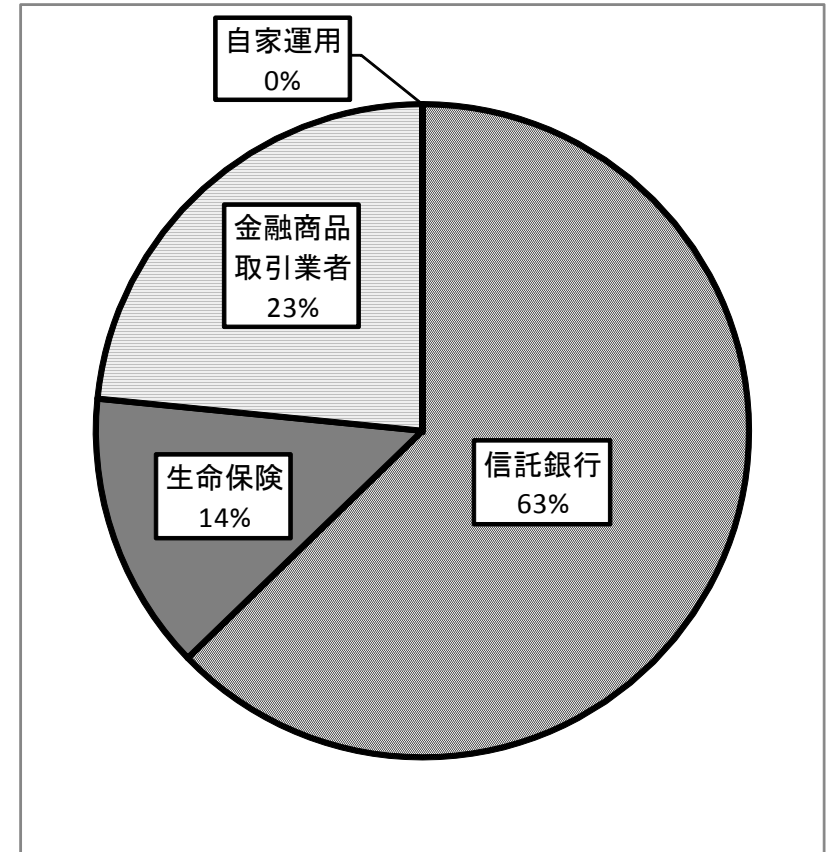


厚生年金基金の運用機関別資産残高及び構成割合（平成24年3月末）

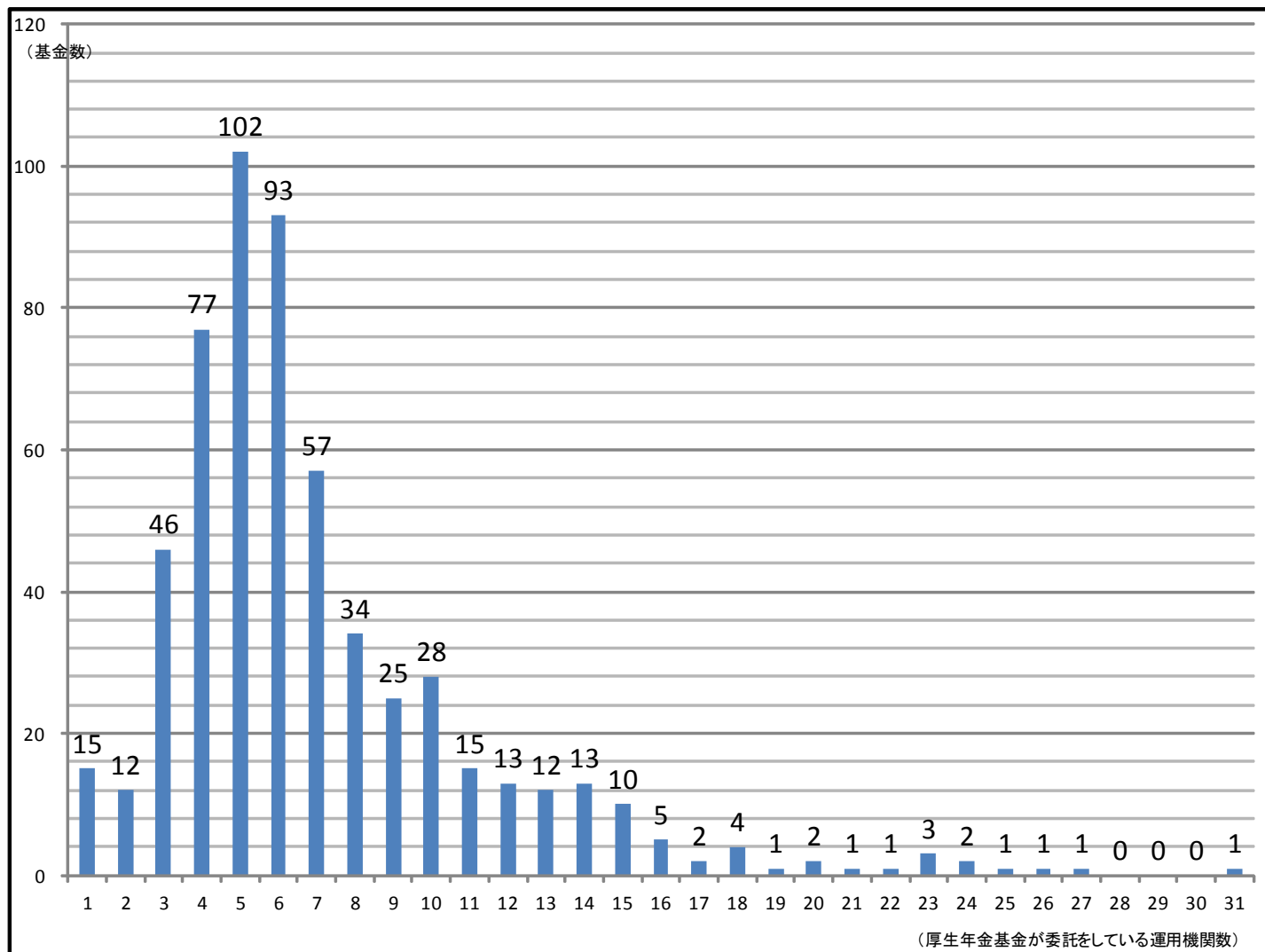
平成24年3月末における厚生年金基金の運用機関別資産残高は、信託銀行が約11兆円、生命保険が約2兆円、金融商品取引業者が約4兆円となりました。

	時価総額(億円)	構成割合(%)
信託銀行	107,143	62.8
生命保険	23,577	13.8
(注)金融商品 取引業者	39,982	23.4
自家運用	7	0.0
合計	170,710	100.0

(注) 金融商品取引業者には、投資顧問業者が含まれる。
四捨五入の関係で合計と内訳が一致していない。

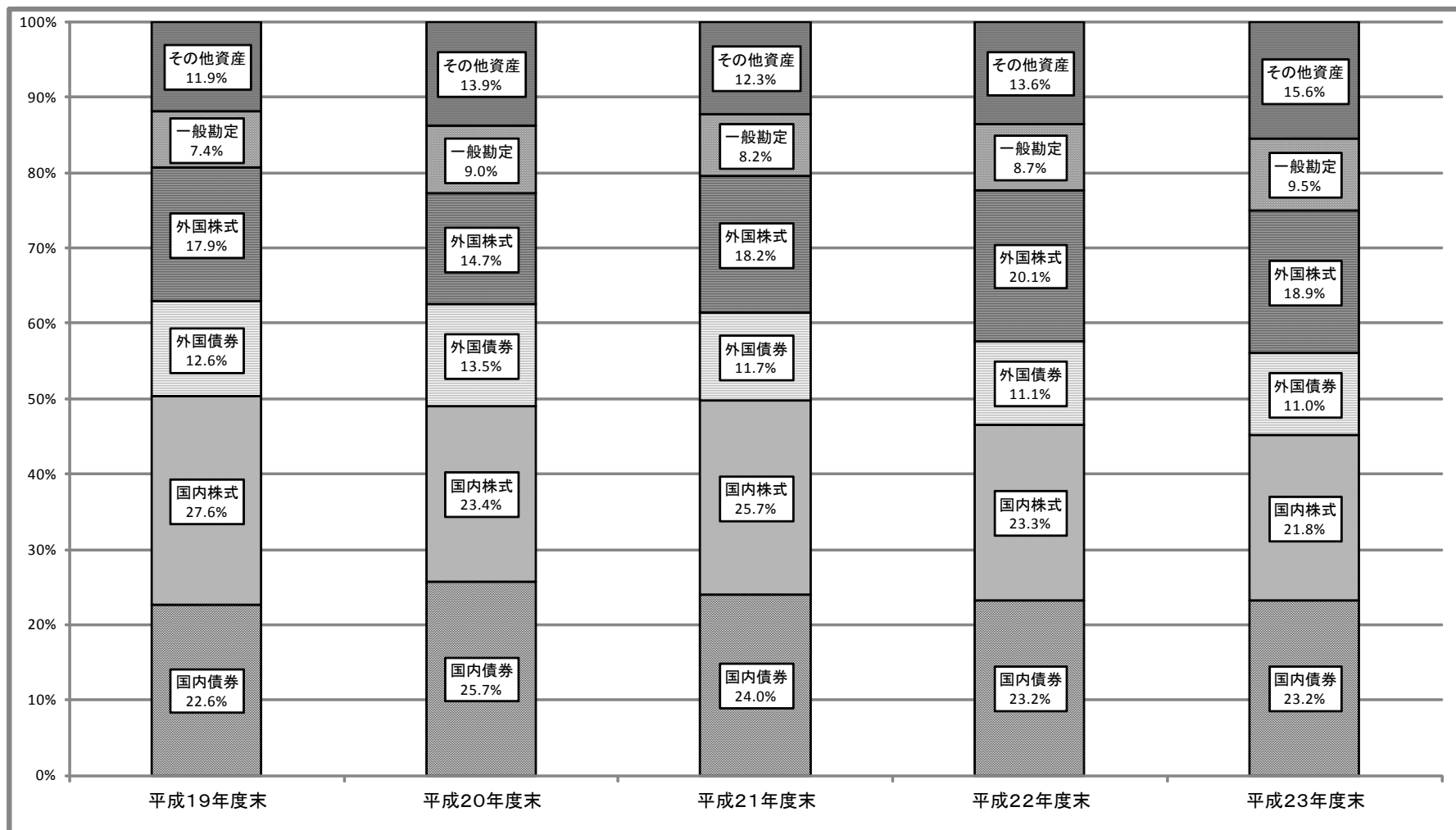


各厚生年金基金が委託している運用機関数(平成24年3月末)



運用機関数	基金数	割合
1社	15	2.6%
2社	12	2.1%
3社	46	8.0%
4社	77	13.3%
5社	102	17.7%
6社	93	16.1%
7社	57	9.9%
8社	34	5.9%
9社	25	4.3%
10社	28	4.9%
11社	15	2.6%
12社	13	2.3%
13社	12	2.1%
14社	13	2.3%
15社	10	1.7%
16社	5	0.9%
17社	2	0.3%
18社	4	0.7%
19社	1	0.2%
20社	2	0.3%
21社	1	0.2%
22社	1	0.2%
23社	3	0.5%
24社	2	0.3%
25社	1	0.2%
26社	1	0.2%
27社	1	0.2%
28社	0	0.0%
29社	0	0.0%
30社	0	0.0%
31社	1	0.2%
合計	577基金	100.0%

厚生年金基金の資産構成割合の推移(過去5年間)



(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

厚生年金基金の運用資産残高及び資産構成割合の推移(過去5年間)

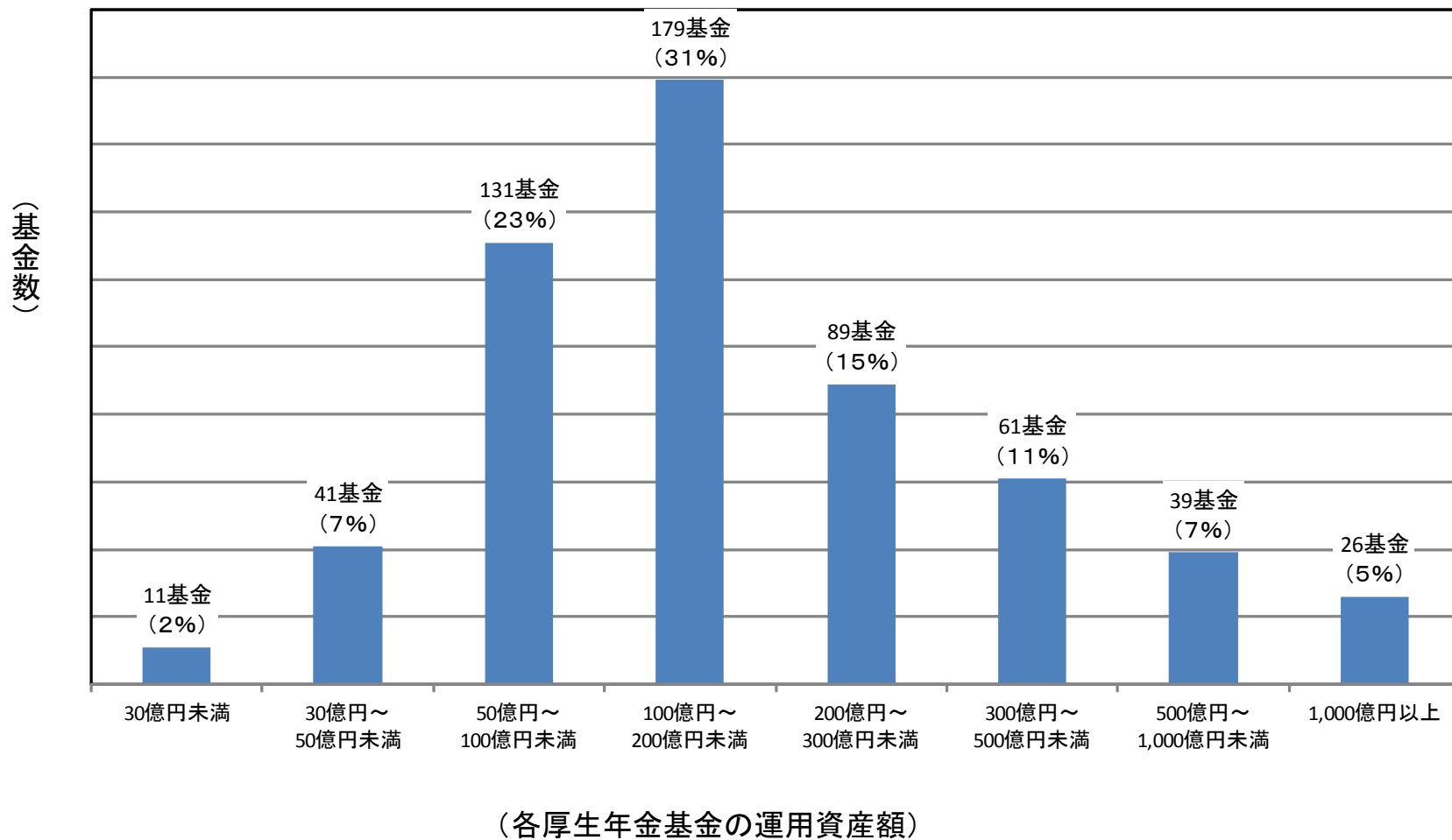
(単位:億円、%)

	平成19年度末			平成20年度末			平成21年度末			平成22年度末			平成23年度末		
	運用資産残高 (時価総額)	資産構成 割合	基金数	運用資産残高 (時価総額)	資産構成 割合	基金数	運用資産残高 (時価総額)	資産構成 割合	基金数	運用資産残高 (時価総額)	資産構成 割合	基金数	運用資産残高 (時価総額)	資産構成 割合	基金数
国内債券	46,475	22.6%	602	41,575	25.7%	598	44,208	24.0%	589	41,247	23.2%	579	39,574	23.2%	559
新株予約 権付社債	9	0.0%	8	6	0.0%	3	5	0.0%	1	6	0.0%	1	0	0.0%	0
国内株式	56,799	27.6%	622	37,848	23.4%	610	47,326	25.7%	602	41,452	23.3%	591	37,298	21.8%	567
外国債券	25,884	12.6%	618	21,822	13.5%	603	21,509	11.7%	595	19,713	11.1%	584	18,765	11.0%	559
外国株式	36,787	17.9%	620	23,773	14.7%	605	33,529	18.2%	595	35,682	20.1%	589	32,268	18.9%	566
一般勘定	15,222	7.4%	420	14,574	9.0%	428	15,027	8.2%	421	15,561	8.7%	415	16,242	9.5%	396
(注) その他資産	24,550	11.9%	622	22,448	13.9%	615	22,696	12.3%	604	24,181	13.6%	594	26,563	15.6%	577
資産合計	205,725	100.0%	624	162,046	100.0%	617	184,299	100.0%	608	177,842	100.0%	595	170,710	100.0%	577

(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

四捨五入の関係で資産合計と内訳が一致していない場合がある。

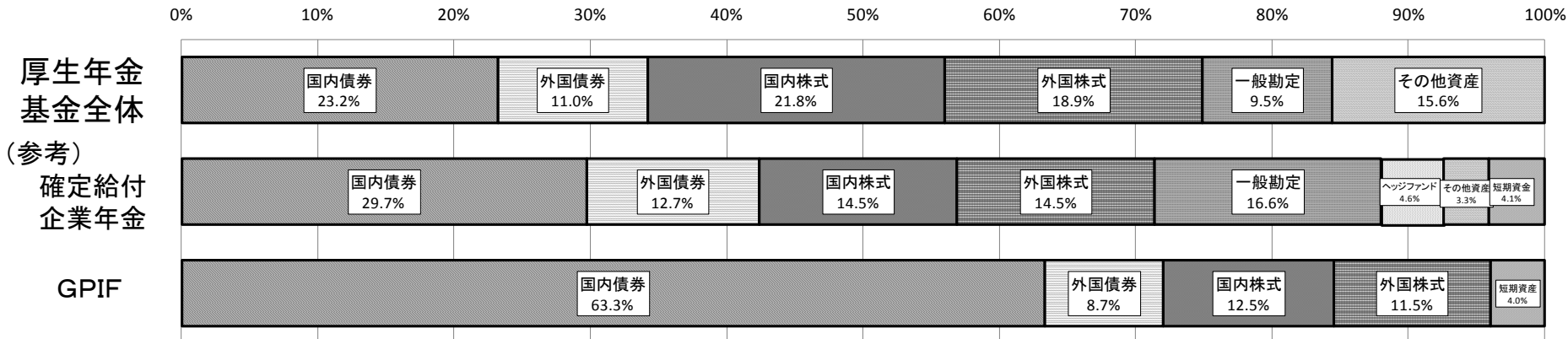
運用資産額規模別の厚生年金基金の分布(平成24年3月末)



(参考) 厚生年金基金の資産運用について

厚生年金基金の資産運用は、加入員等の受給権を保護し、また、基金が公的年金の一部を代行していることを踏まえ、リスク管理に重点を置きつつ、安全かつ効率的に行っていくことが必要であり、基本的に「外部積立」による「分散投資」と「長期的な基本ポートフォリオ(政策的資産構成割合)の策定・管理」に基づいた運用が求められている。

1. 厚生年金基金等の資産構成割合



(注) 厚生年金基金全体は「厚生年金基金資産運用業務報告書(平成23年度)」、確定給付企業年金は「新しい企業年金基礎資料 平成24年12月(企業年金連合会)」、GPIFは「平成23年度業務概況書(年金積立金管理運用独立行政法人)」の数値によるもの。

(注) 確定給付企業年金の「その他資産」は、不動産・プライベートエクイティ等である。

2. 厚生年金基金等の運用利回り

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
厚生年金基金全体	-12.03%	-19.81%	15.48%	-1.00%	1.33%
(参考) 確定給付企業年金	-9.10%	-15.81%	13.23%	-0.17%	2.18%
(参考) GPIF	-4.59%	-7.57%	7.91%	-0.25%	2.32%

(注) 厚生年金基金全体、確定給付企業年金は「新しい企業年金基礎資料 平成24年12月(企業年金連合会)」、GPIFは「平成23年度業務概況書(年金積立金管理運用独立行政法人)」の数値によるもの。

(注) 各年度末による修正総合利回りである。